



三本杉



令和5年2月2日

校長 桑原 豊行

大寒波到来 一面の銀世界



先週から今週にかけ極寒の中、降雪が続き大雪となり学校も1日臨時休業となりました。冬型の天候が続き大変でしたが、皆様いかがお過ごしだったでしょうか。学校の子どもたちは、雪が大好きで、休み時間には外で元気に遊んでいる子がたくさんいました。運動場には雪だるまが並び、北陸の冬らしい光景が見られるようになりました。

さて新年から早くも1ヶ月が経ち、2月となりました。「2月は逃げる、3月は去る」と言われる通り、今年度も残りわずかです。まだまだ寒い日が続きますが、学校では運動や勉強にしっかりと取り組み、充実した毎日を過ごさせたいと思っています。ご家庭におかれましては健康に留意し、子どもたちが元気に生活できるよう引き続きご協力をお願いいたします。

校内なわとび大会開催 2/1



子どもたちは12月頃から、本校の「なわとび級位表」を使って技能の向上を目指し、体育の時間を中心になわとび練習に励んできました。3学期に入ると、長休みや昼休みの時間は1体、2体とも大会に向けて一生懸命に練習する子でいっぱいでした。様子を見てみると「先生、数えて」とか「できるようになったので見て」等の声をよく掛けられました。

なわとび大会のねらいは「なわとびを跳ぶことの楽しさやみんなで協力する喜びを通して、異学年のつながりを深める」としました。目標記録に向け、個人で跳ぶ回数を競うだけでなく、友だちへ温かい声援を送ったり跳ぶ回数を正確に数えたりして、ペア学年で交流することも大切にしました。大会当日は、どの子も全力を出し切り、多くの子が目標を達成し、これまでの成果を発揮することができました。保護者の皆様からもたくさんの応援をいただき、ありがとうございました。感謝いたします。



避難訓練（不審者対応訓練）



みんな真剣。避難の様子を振り返っています。



知らない人には絶対ついて行ってはいけません。

1月18日（水）にはアルソックの協力の下、不審者対応訓練（全校）と「あんしん教室」（3年生対象）を行いました。不審者対応訓練は不審者が職員玄関から入り3階までのぼったという想定で行い、全校児童が危機を回避しながら静かに体育館に避難することができました。

続く「あんしん教室」では、①いかのおすし（行かない・乗らない・大声を出す・すぐ逃げる・知らせる）についての確認②いざというときに備え、大声を出したり素早く逃げたりする訓練等を行いました。学習を通して子どもたち一人ひとりが自分の命は自分で守ることの大切さを学ぶことができました。絶対にあってはいけない命にかかわる事案です。ご家庭でもぜひお子さんと安全についてご確認をお願いいたします。



「助けてー。」3年生が大声で叫ぶ練習をしています。

訓練の感想（児童より）

- ・しっかりと避難できました。いざという時のために訓練を頭の中に入れておきます。
- ・今日は訓練だからそんなに怖くなかったけど、本当にあると思うとぞっとしました。
- ・「いかのおすし」のことがよくわかりました。誘われても絶対についていきません。

租税教室（6年生対象 1/12）



1億円ってすごく重たいな。
（これは法律に基づき学習用に作られたレプリカです）

税理士の木村鉄平さんをお招きし、社会科の授業として租税教室を開催していただきました。教室ではまず「税金は何のためにあるのか」という疑問について考えました。道路や消防、警察、病院、公園、介護等、税金が我々の豊かな生活や健康を支えていることに気づきました。学校では児童1人あたりに90万円、クラスで約2700万円の税金が使われていることにも驚きました。さらに税金の種類を知り、税の負担が公正・公平になるよう仕組みが工夫されていることも学びました。途中、ジュラルミンケースの中の1億円に触れることができ、子どもたちには大喜びの学習となりました。